

(6)住宅設備に関する項目

①換気方式

11 年度調査時点と比べて「住宅全体の機械換気システム」の採用割合が大きく増えて 35.2%になった(図 80)。

工法別には、プレハブ工法及び枠組壁工法において、「住宅全体の 24 時間機械換気システム」を採用する割合が多い(図 81)。

図80 換気方式

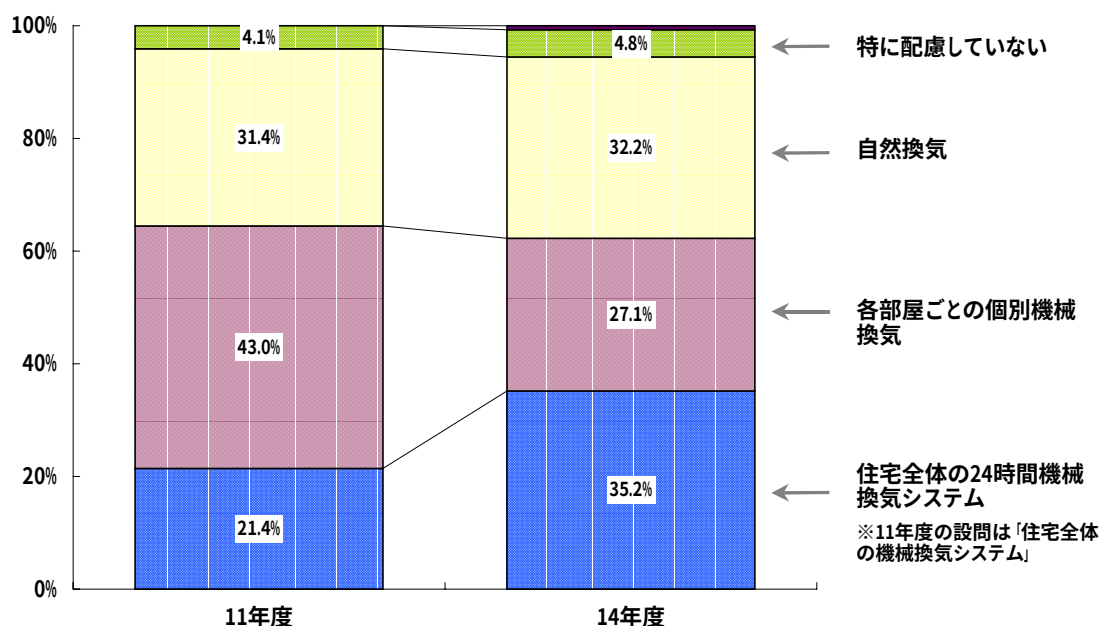
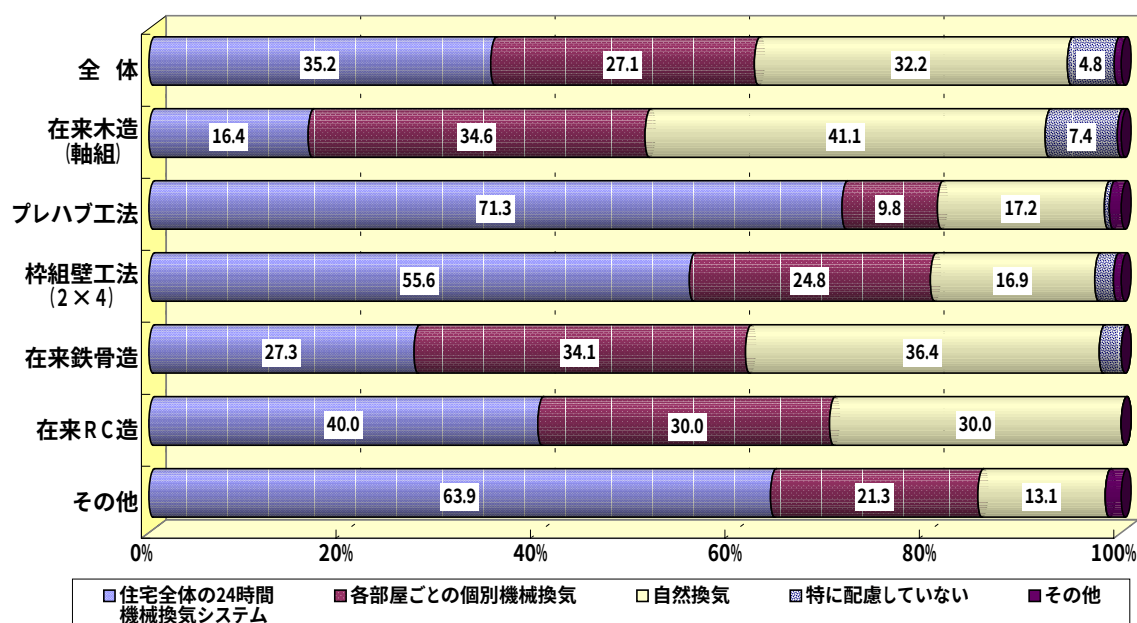


図81 換気の方式(工法別)



②床暖房の有無

床暖房が「ある」住宅は全体の 13.3%であった。

工法別の差はほとんどみられない(図 82)。

建築主の年齢別では、「25 歳未満」を除く各分布において 10%～15%の割合で床暖房が「ある」と回答している(図 83)。

図82 床暖房の有無(工法別)

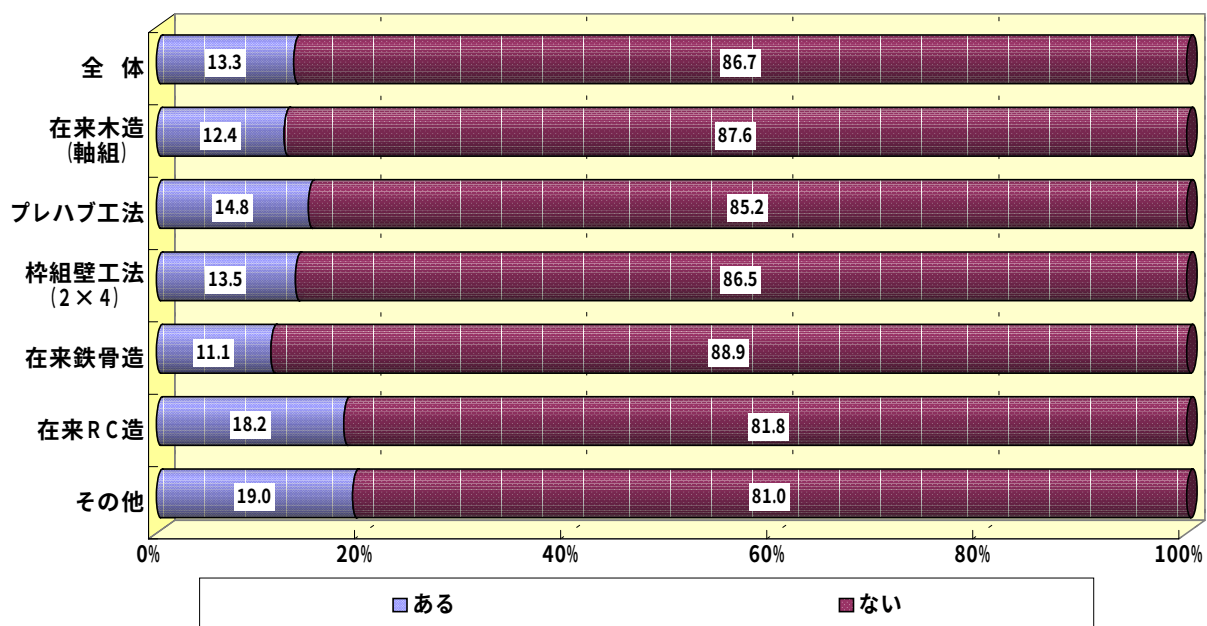
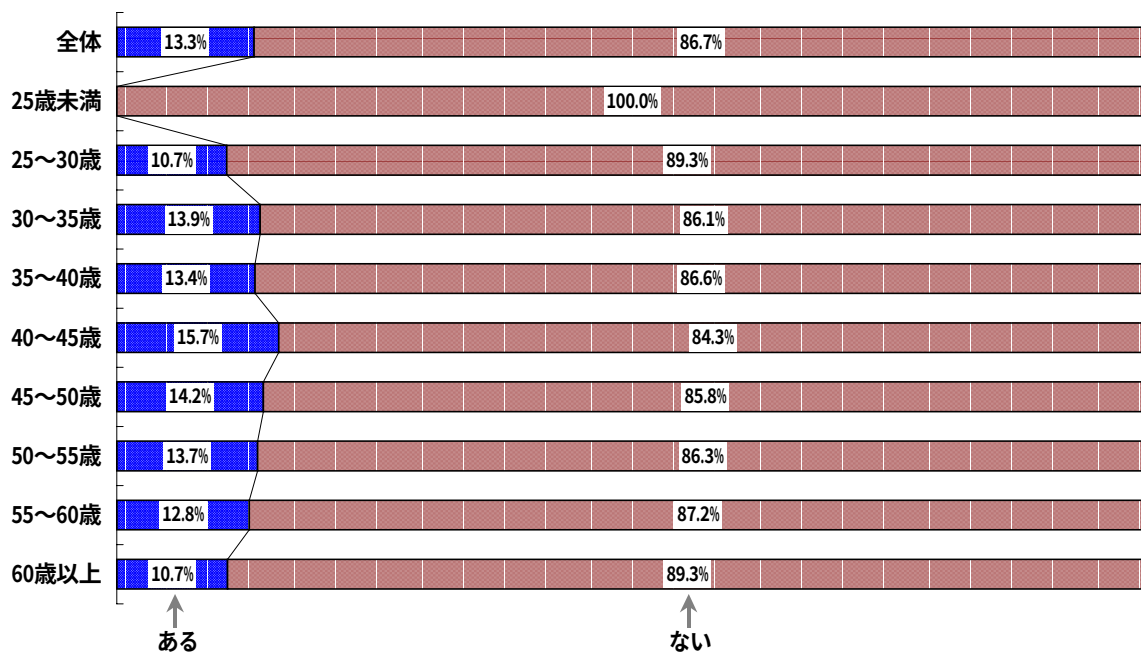


図83 床暖房の有無(建築主の年齢別)



③防犯に配慮した措置 (複数回答)

防犯への配慮で採用している措置で多い順は、「補助錠」(62.0%)、「耐ピッキング性能の高い錠」(56.1%)、「テレビドアホンシステム」(50.6%)であった。

地域別では、北海道で「テレビドアホンシステム」(74.5%) の採用が多い (図 84)。

工法別には、プレハブ工法において、複数採用されており、各々の割合が多くなっている (図 85)。

図84 防犯への配慮 (地域別)

※複数回答

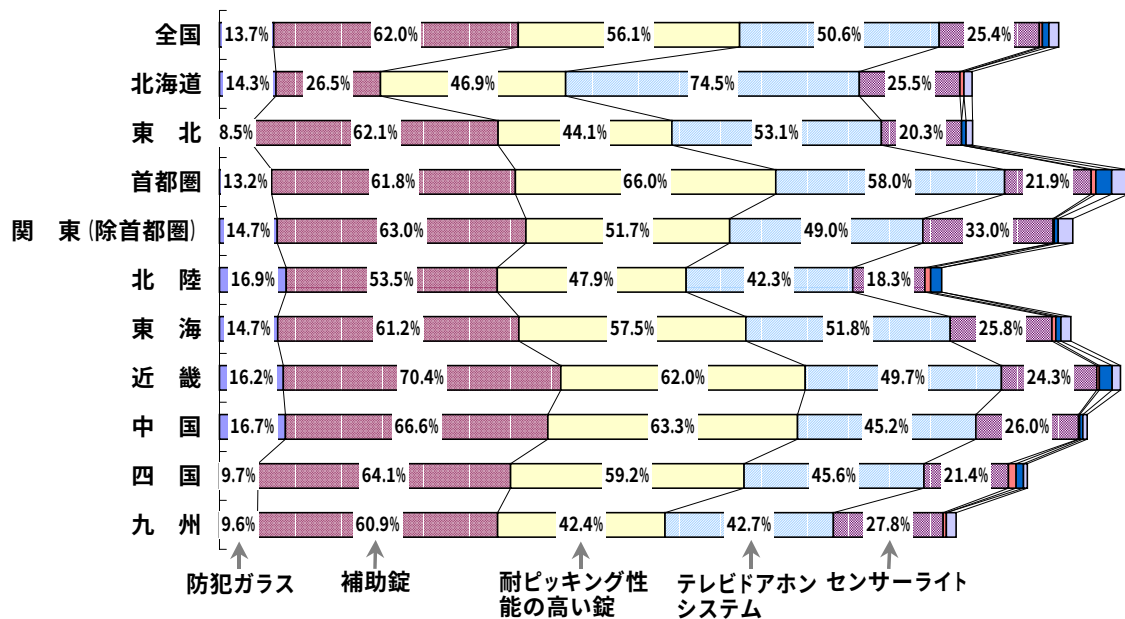
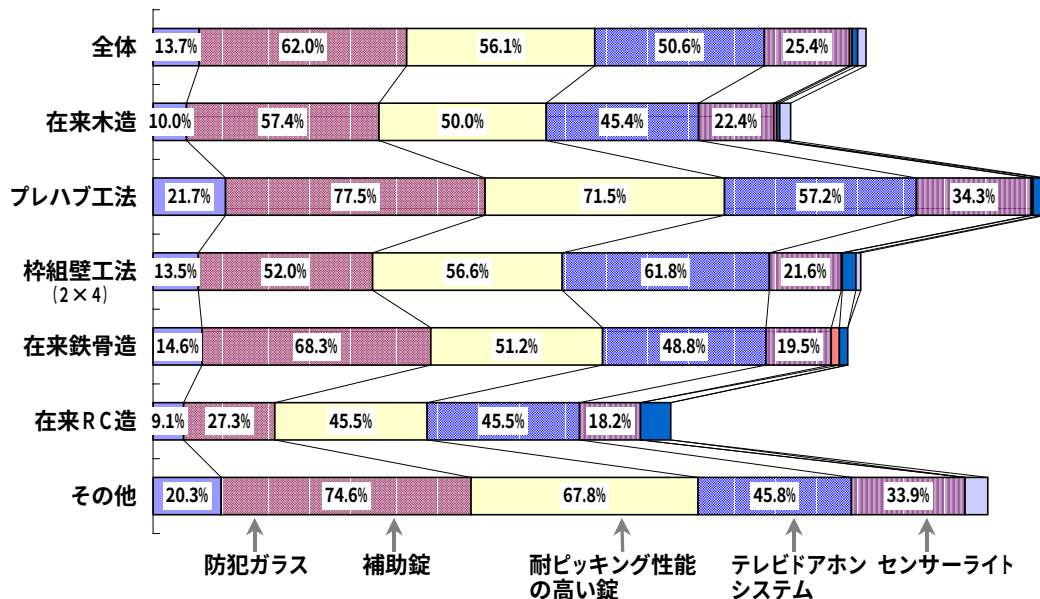


図85 防犯への配慮 (工法別)

※複数回答



④雨戸の有無

7 年度調査と比較すると、「半分ぐらいの窓についている」(20.5%)、「一部の窓についている」(17.0%)が増加しているのに対して、「ほとんどの窓についている」(19.4%)が大きく減少している(図 86)。

工法別では、枠組壁工法と在来 RC 造において、「つけていない」とした割合が 50%を超えている(図 87)。

図86 雨戸の有無

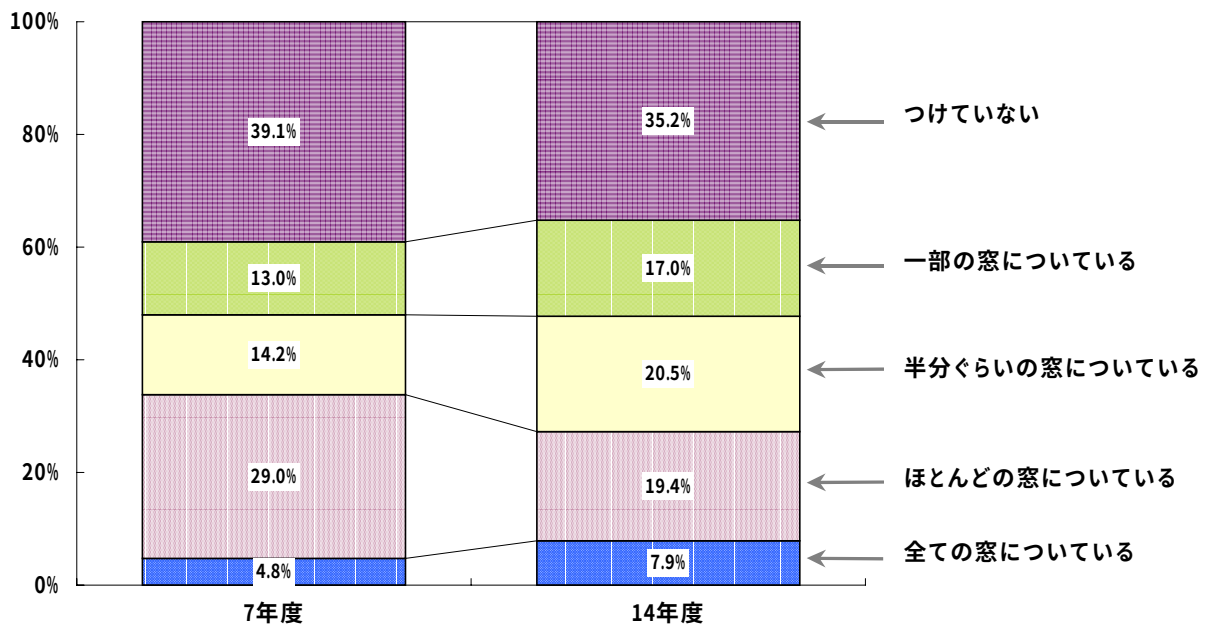


図87 雨戸の有無(工法別)

